



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内
TEL. 03-3615-5565 FAX 5578



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.09 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

9月 実り秋

人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる。(マタイによる福音書 4章4節)
食く欲の秋である。私達にとって、パンは大切な生きる手段であると同じように神の言葉も大切なものである。>

2023年9月例会・関東東部部長公式訪問

日時：2023年 9月20日(水) 18:30～20:30

場所：東京 YMCA 東陽町センター

受付：青木メン、進行：根本メン

開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
ゲストスピーチ

千代田区立昌平小学校 校長 浅岡 寿郎 様
演題(仮)「課外船上学習への期待」

各種報告 樋口 会長
YMCA 報告 柳原 主事
ハッピーバースデー佐野弘子、西澤紘一、早瀬夫妻各メン

閉会点鐘 樋口 会長

★ご出席の方は、9/16迄に青木メンまでご連絡下さい

【例会出席率】 在籍：15名 8月出席率 11/13 77%

出席：8月 銀座ライオン
(メン 11名、メネット0名) 計 11名

【ニコニコ】 ¥29,000

<<<東京都環境賞受賞>>>

第88回 神田川船の会[®]

2023/10/14(土)開催

今秋は、浅草橋出航→神田川～日本橋川～隅田川～晴海運河～東京港～隅田川～神田川→浅草橋のルートを運行します。

▲ **開催日曜日** 2023年10月14日(土) 少雨決行

▲ **乗船便**

●午前便 2艘 (募集人員 65名) 出航：10:00

●午後便 2艘 (募集人員 65名) 出航：13:30

▲ **集合場所** 浅草橋・船宿「三浦屋」前の広場

* JR総武線/浅草橋駅東口 徒歩2分

▲ **参加費**

◆大人 3,500円/名*消費税込み

◆小・中学生 2,000円/名*消費税込み冊子なし

▲ **申込先** 東京YMCA 神田川船の会 事務局

Eメール kandagawa@tokyoymca.org

▲ **申込締切日** 2023年9月20日(水)*当日必着

◆2023年8月 納涼例会&歓迎会報告

日時：2023年8月23日(水) 17:00~19:00

場所：ライオン銀座7丁目店

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、高谷、西澤、西本(東)、
西本(晃)、目黒、柳原、樋口各メン

ゲスト：大澤 和子メン(会員増強事業主査・所沢クラブ)
春日井 明メンご家族(東京クラブ)

▲ 5年ぶりのリアル納涼例会&新会員小仁メン歓迎会
は、1899年開店、現存最古のビアホールにて、会長
による開会宣言ではじまりました。

新入会員小仁恵子氏およびビジター4氏をご紹介し、
西本メンによる乾杯のご発声後、メンバー各位は、特
別生サッポロビールとお料理に舌鼓を打ちながら、
久々の会話を楽しみ、あるいは日頃の懸念事項を
本音で語り合い、話が尽きることもなく、実に楽しく、
あっという間に時が過ぎました。

▲ 当会場での開催にあたっては、西本メンのご尽力に
厚く御礼を申し上げます。

(樋口 記)

★納涼例会の数コマ★



左手前から、佐野、大澤、小仁、青木、高谷、目黒各メン



西本メンご夫妻と春日井メンご家族

◆2023年9月第一例会卓話のおしらせ

(仮)「課外船上学習への期待」

9月例会には、千代田区立昌平小学校校長 浅岡
寿郎 氏をお招きします。

同校は、長年にわたり課外船上学習を実施されて
おり、神田川船の会と同ルートを案内し、生徒さんに
水環境の大切さをアピールしてまいりました。

このたび、たいへんご無理を申し上げ、浅岡先生を
お招きし、お話をお伺いしたいと思います。

みなさま、多くの方々のご来場をお待ちいたします。

記

日時：2023年9月20日(水)18:30~20:30

場所：東陽町センター

講師：昌平小学校 校長 浅岡 寿郎 氏

卓 題：(仮)「課外船上学習への期待」

◆23/24年度会費振込のおねがい

振込み口座は下記をお願いいたします。

京葉銀行 こてはし台支店(普通)3856346

カキヤマ ケイキ名義



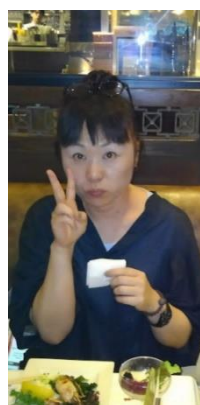
高谷メン



西澤メン



柿沼、大澤各メン



柳原メン



小仁メン



青木メン

◆2023年9月 第二例会(役員会)報告

日時:2023年9月13日(水) 15:00~16:30

出席者:青木,柿沼,小仁,佐野,西澤,目黒,柳原,樋口メン

▲審議事項

- 1) 9月20日(水)第一例会の次第再確認
- 2) 10月11日(水)10月第二例会は、千代田区
和泉橋区民館にて行う。15:00~17:00
- 3) 10月18日(水)10月第一例会
卓話:「日本のポピュラー音楽史1」
- 4) 11月16日(木)3クラブ合同例会
(江東、ひがし、グリーン合同レコードコンサート)
・日時:18:30~東陽町センター
- 5) 各行事への出欠確認
 - ① 9月23日(土) チャリティーラン:青木、小仁各メン
 - ② 9月30日~10月1日 YVLF:小仁メン
 - ③ 10月1日(日)「出動!クリーンレンジャー」:樋口
 - ④ 10月4日(水) 昌平小学校課外船上学習
:柿沼、樋口、青木、各メン
 - ⑤ 10月28日(土) 関東東部部大会(船橋)
:青木、柿沼、小仁、佐野、樋口、各メン
 - ⑥ 11月26日(日)熱海クラブ60周年記念例会
:青木、柿沼、西本夫妻、樋口、各メン

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 9月23日(土)インタナショナル・チャリティーラン
- 2) 9月27日(水) 昌平小学校事前学習
- 3) 9月29日~10月1日 ユースボランティア LF
- 4) 10月1日(日)「出動!クリーンレンジャー」開催
- 5) 10月4日(水) 昌平小学校課外船上学習
- 6) 10月10日(火) 同上 予備日
- 7) 10月11日(水)10月役員会、神田川船の会最終
- 8) 10月14日(土) 第88回神田川船の会
- 9) 10月18日(水) 10月例会18:30~20:30(東陽町)
- 10) 10月28日(土) 関東東部部大会(船橋)
- 11) 11月8日(水) 11月役員会
- 12) 11月16日(木) 11月合同例会18:30~(東陽町)
- 13) 11月18日(土)関東東部評議会
- 14) 11月25日(土)関東東部 Y's/YMCA 協議会(Z)
- 15) 11月26日(日)熱海クラブ60周年記念例会(熱海)

(樋口 記)

◆雑感:「オキシトシンの働き」

西澤 紘一

先般、NHK-TV で『人間は、なぜ戦争とするのか』と言う番組があり、興味深く見た。人間には、元来オキシトシンと言うホルモンを持っている。これは、協調性、共感性を醸成するとともに攻撃性、差別性をも司ると言われている。有史以来、人間はあまた動物の中でも最も弱い立場にあった。生き残るために互い協調して、外敵と闘い強い相手を倒してきた。協調することが生きるすべであった。

ところが、人間が石器や銅器、鉄器などの道具を手にとると遠隔であっても獲物を倒すことが出来るようになった。そこで集団を大きくし、獲物を大量に取り、仲間を増やし大きな強い集団を目指すようになった。

協調、共感を基にした集団化が、そこで暮らす一人一人にとって有利であり得になるからであった。こうして集団が成長してゆく。

集団化が成熟してくると、オキシトシンホルモンのもう一つの機能、攻撃性、差別性(仲間を守る意識)が頭をもたげてくる。つまり、集団が他の集団を襲い自己増殖することが起こる。これが戦争の起源である。

集団同士の戦いが一般化したのが 16 世紀に起こった宗教改革後の 30 年戦争であったと言われている。新興勢力であったプロテスタント国と既存勢力のカトリック国との戦いであった。しかもこの争いを加速化した技術が、活版印刷であった。情報が多人数に同時に伝わる手段は、戦争時の恐怖の伝搬、敵愾心や復讐心の醸成など戦争のエスカレーションに寄与するものであった。

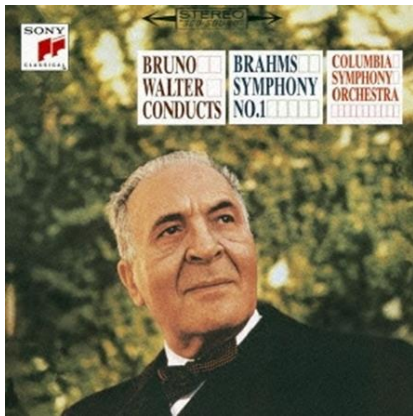
このように人間である以上、誰もがオキシトシンホルモンを持っている、つまり共感性と攻撃性の両面を司っている事を理解しなければならない。

そこで、誰もが共有できるアイテム、気候変動、食料、環境、エネルギーなど共感性オキシトシンホルモンが働きやすい目標を定めて、WIN-WIN 関係となるシステム構築を目的とすることが 1 つの解決手段であろう。

キリスト教的に言えば、神は人間を創造する時に『完全な自由』と『無限の知性』を与えられた。したがって、人間は、人を殺す自由もある代わりに人のために自分の命を捨てるという理性も持ち合わせている。どちらを選ぶかは、どのようにオキシトシンホルモンを働かせるかが課題であろう。

秋風には、

ブラームスの交響曲第1番



作曲:ヨハネス・ブラームス(1833~1897)

交響曲 第1番ハ短調 作品68(1876)

指揮:ブルーノ・ワルター(1876-1962)

コロムビア交響楽団(1959年録音)

ようやくすこしだけ秋風を感じる季節になりました。今回はブラームス43歳の会心の自信作、交響曲第1番です。

尊敬するベートーベンの「第九」の先を越そうと意識しすぎてハードルが高くなり、21年考え抜いて完成したという、やや肩の凝る曲です。でも秋の夜長にじっくり聴き通すとその偉大さが感じられ、なぜか心が晴れます。

第1楽章: 出だしにティンパニーが52回連打されます。この打ち方の塩梅(あんばい)が、曲全体の風味を決める聴きどころです。そののち緊張感のある曲想が続き、ベートーベン「運命」のあのリズム「タ、タ、タ、ターン」も加わり、強い意気込みを表わしているかのようです。

第2楽章: 哀愁ある穏やかな曲です。オーボエ、ホルン、そしてソロバイオリンの音色に心休まるひと時です。

第3楽章: 明るい牧歌的メロディーに、ストレスがとれます。

第4楽章: 重くゆっくりと始まる序奏部はまるで「第九」を想わせます。2本のホルンによりアルペン風の歌が朗々と歌われ、これをフルートが凛々とくりかえします。次にトロンボーンとファゴットが讚美歌風のフレーズを奏で、再びホルンが歌います。最高の聴きどころです。

そののち「ブラームスの歓喜の歌」が弦楽合奏され、変化展開しながら元気に加速していき曲が終わります。
推奨CD: ブルーノ・ワルターの演奏は、個々の喜怒哀楽の表現の妙味もさることながら、ブラームスの強靱な意思を感じさせます。すばらしいCDです。(樋口 記)

<コロナ前の夏が戻ってきた!>

1. 今夏は幼児から高校生、及びファミリーを対象に、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に10の宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、延べ約500名が参加した。
2. 海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの3コースに小学3年生から高校生合わせて約30名が参加し、無事に終了した。
3. 8月7~11日、「キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAタラゴンキャンプ場で開催され、東京YMCAからは小学生5人と引率スタッフ2人が参加した。韓国をはじめアジア各国からの参加者とサッカー試合やレクリエーション、韓国文化体験等を通して交流を深めた。
4. 主な行事日程
 - 1) 「関東大震災第100周年記念追悼合同早天祈祷会」9月1日 7:30~8:30
会場:在日本韓国YMCA9階ホール
奨励:金性済牧師(日本キリスト教協議会総幹事)
 - 2) 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日~20日
テーマ:回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場:インド・チェンナイ
 - 3) 「第26回会員芸術祭」(オンライン芸術祭)
9月~10月(東京YMCAのHP上に掲載)
 - 4) 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
 - ① 個人ウォーキング(オンライン):
9月16日~23日
 - ② チームウォーキング(オンライン):
9月23日~10月1日
 - ③ チームレース(都立木場公園):9月23日
 - 5) 「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」
11月6日~8日 会場:台北YMCA
テーマ:「神の視点と聖書の知恵から現在の経済状況に向き合う」

(クラブ担当主事:柳原)



(写真は、夏の井の頭公園、井の頭池)